



令和5年度「船上山スクール体験入学」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和6年2月24日(土) ※日帰り

2 日程

午前		午後	
9:30	受付	13:30	3時間目「図工」
10:00	朝の会(出会いのつどい)	14:30	帰りの会(別れのつどい)
10:20	1時間目「国語・算数」	15:00	解散(さようなら)
11:00	2時間目「体育」		
12:15	給食		



3 ねらい

・小学校の学習体験を通して、4月からの小学校生活への期待と意欲を高める。

4 対象 年長園児とその保護者16組



5 応募者数・当日参加者数

応募者数24組49名、当日参加者数23組47名 (年長園児:23名 保護者:24名)

6 参加費 900円

II 実施状況

■〈2月24日(土) 天候 くもり〉

受付を開始してから園児たちは、やや緊張した面持ちで保護者と一緒にレクリエーションホールに入室した。実際に小学校で使用する机・椅子に着席し、しおりに自分の名前を記名し、開始を待っていた。出会いのつどいの後、机・椅子の座り方、手の挙げ方、返事の仕方を指導員が手本を示した。指導員に名前を呼ばれた子どもたちは、元気よく「はい」と返事をして、よい姿勢で挙手をしていた。活動内容は、小学校の時間割に合わせて計画し、登校後の朝の会から、1時間目の学習に続き、途中給食や休憩時間をはさみ、3時間目まで実施した。終わった活動にはホワイトボードに記載した時間割に花丸マークをつけていくことを確認し、活動に臨んだ。



1時間目は「国語・算数」の学習を行った。国語では、最初に「あいうえおのうた」を指導員の後に復唱した。初めての授業で緊張していることもあり、なかなか大きな声を出すことにためらいがあるように感じた。しかし、何回か復唱していくうちに、次第に大きな声が出せるようになっていった。続け



て「ことばづくり」のゲームを行った。指導員が提示したイラストに対応するひらがなカードを順番に取りに行き、カードを正しく並べてことばづくりを楽しんでいた。識字の難しい園児には、指導員が傍についてヒントを出し補助を行うことによって、どのグループも楽しく活動することができた。

算数では、サイコロを振ってその出た目の数だけカプラを繋げて並べ、ゴールラインを超えるまで長く伸ばしていくゲームを行った。指導員が最初に活動の流れの手本を実演し、園児たちに実際に活動してもらった。出たサイコロの目に一喜一憂しながらもみんなで協力しながらカプラを並べることができていた。

2時間目は「体育」の学習を行った。当初は雪遊びの計画をしていたが、今年は暖冬の影響で積雪がなかったため、体育館での活動に変更して保護者の方にも一緒に参加していただいた。まず準備運動として軽く体を動かしつつ参加者同士の交流も含め、「木の中のリス」というレクリエーションを行った。何度か動きを繰り返していくうちに、大人も子どももあつという間に緊張がほぐれた様子だった。その後は、「小枝運びリレー」を行った。各グループに分かれ、親子で指に小枝をはさみ、息を合わせてゴールのバケツまでリレーを行った。「体育」の時間の後半には「船上山アスレチック」を用意し、トランポリンやなわとび、ターザンロープ、一本橋わたり、ストラックアウトなど親子で一緒にまわってもらい、いろいろな運動を楽しみながら体を動かした。

給食(昼食)では、実際の学校での給食のように、班ごとに分かれ配膳体験をした。子どもたちは、同じグループの参加者の食事を保護者と協力して準備したり、皿をまとめて片付けを手伝ったりしながら、配膳の準備に若干緊張しながらも取り組んでいた。この日のメニューは、ハンバーグとクリームシチューで子ども大人どちらからも高評価であった。

3時間目は「図工」の学習を行った。自分の手形を取った後、ラミネートしたパウチに花の形をした小さな和紙を手形状に貼り付けていく「手形アート」の作成を行った。親子で一緒に創作活動を楽しみながら、完成した作品にみんな満足そうで、持ち帰るのを楽しみにしている様子であった。数年後に成長した姿で手形を合わせ、船上山での活動を思い出してもらおうことができると感じた。

「帰りの会」では、体験入学であったことを振り返り、感想を記入した。子どもたちは文字を書くことにまだ慣れていないので、保護者に補助してもらった。中には自分で感想を書いている園児もいたので意欲の高さに感心した。発表する時間を設けたときも、想定していたより積極的に手を挙げて思いを伝えようとする園児が多く、楽しかった思いや、小学校に向けての意欲が十分に伝わってきた。初めて出会う仲間や大人も多くいる中で、自分の気持ちを積極的に伝えようとするのは素晴らしいことだと感じた。



最後に、教頭先生(指導係長)から頑張ったご褒美に記念の缶バッジを一人ずつ手渡しされた。呼ばれた園児はしっかりと返事をし、笑顔で受け取り「ありがとうございました」とお礼を言い席に戻っていた。新年度からの入学する練習として親子一緒に有意義な時間を過ごしてもらうことができたスクール体験入学であった。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者49名 アンケート回収率 100% 23組)

事業全体の満足度:満足 23組

《参加者の感想(抜粋)》

【園児】

- ・しょうがっこうにいけんしゅうができてよかったです。
- ・たいいくのじかんがたのしかったです。
- ・こうさくをしたのがたのしかったです。
- ・またきたいです。ありがとうございました。

【保護者】

- ・小学校入学前に、勉強したり、団体行動をしたりとてもいい経験ができました。
- ・初めて会った子や、保護者の方とも触れ合う活動があり、緊張していた娘もだんだん笑顔が増えていく様子をほほえましく見ることができました。よい経験をさせてもらえてうれしかったです。
- ・体育や図工では、親も一緒に活動ができ楽しく過ごせました。
- ・子どもの成長が感じられて親としてもとても嬉しい1日となりました。
- ・実際に机、椅子にも座らせてもらい、小学校での生活がより楽しみになったように思います。



2 成果

- ・入学前の予行演習として、国語や算数といった教科の活動を通して、小学校生活のイメージを園児や保護者にもってもらうことができた。
- ・模擬集団生活を体験してもらうことによって、小学校生活への期待と意欲を高めてもらうことが出来た。
- ・船上山少年自然の家の特色を活かしたスクール体験入学のプログラムを実施したことで、兄弟関係がある保護者の方に主催の取り組みを知ってもらい、体験入学の企画があればまた行きたいという気持ちを高めてもらうことができた。

3 課題

- ・来年度は、スクール体験入学の主催は実施しない方向であるが、もし今後体験入学を実施してほしいという要望があった場合はどのように対応していくのかを検討する必要がある。
- ・今年度は積雪が少なく、雪遊びを実施できなかったが、可能ならば自然体験活動は取り入れたい。